

三田市立学校再編計画【第1次計画】説明会概要<藍・長坂中学校区> 【広野市民センター：出席者数：67人】

日時：2月16日（土）14：30～16：50

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
つつじが丘	<p>①全国で1万数百の統廃合の話があり、そのうち実現したのは500程度である。ほとんどの場合、住民の反対で実現されていない。統合すれば人件費が浮くということできていると思うが、3時間目と4時間目の間で、教員が学校を時間割に合わせて移動すればよいのではないか。</p> <p>教科の担当時間を週20時間で計算しているということであるが、30時間を超えて授業をすればよいのではないか。外国語は外国人を雇って、1年から3年まで教えて3時間しか授業していないが、10校を教えたならよいのではないか。このように考えればいくらでもコストダウンを図れるのではないか。</p> <p>そのようなことを考えないのか。一番やりやすい、先生を動かしたらよいだけの話ではないか。車で移動し、午前の3時間と午後の3時間を先生が入れ替わったら済むだけである。そんな単純な話をなぜ考えないのか。</p>	<p>①教員は空き時間を利用して、作文、プリントの評価や授業の準備、保護者等との連絡などを行っている。</p> <p>英語指導助手（ALT）は1校に1人ではなく、3校を掛け持ちし、週4時間英語があるが、その時間に、すべての学年でアシスタントの役割をしている。授業をするのは英語の教員であり、ALTはそのアシスタントとしての役割を果たしているということである。</p> <p>移動については不可能ではないと思うが、時間がかかる。そういうことも含めて、授業の持ち時数は20時間と計算している。</p> <p>家庭科等は授業時数が少なく、免許外指導を解消するため、掛け持ちの教員を配置できないか、移動するのではなく、月、火はこっちの学校、水～金は別の学校に行くということで、「市費で雇うので、そういうことができないか。」と県に相談したが、市費教員は、あくまでも指導の補助であって、指導計画を立て、学習評価をするのは、県の教員に限るということで、市費の教員がそれを行うことが認められていない。市もそのようなことを考え、いろいろと県と交渉してきたという経緯がある。</p>
つつじが丘	<p>②中学校と中学校の統合では少子高齢化に対応できない。この案では、つつじが丘は、さらに人口が減少する。</p> <p>藍中と長坂中を統合した後、再度、統合するということになるのではないか。</p> <p>9年間を見通して、小中一貫教育という選択肢があっても良いのではないか。実際に兵庫県においても養父市、豊岡、姫路などがやっている。豊岡は全市、小中一貫教育にしようとしている。</p> <p>三田市においても、横の統合だけでなく、縦の統合もあるということで、選択肢を持って提案してはどうか。</p> <p>この案を計画に入れて、住民に諮ってほしい。</p> <p>今、結論を出さずに、モデル校としてやってみても良いのではないか。</p>	<p>②審議会の中でもそのような議論はしてきた。小中一貫校は、兵庫県内では例が少なく、他府県に見学に行ったことがある。我々としてはクラス替えができる環境を作りたい。このままでは単学級の学年ができる。それを解消できる方法が、今日ご説明させていただいた方法である。それ以外にも校区の見直し等の議論もあったが、地域の交流、地域のまちづくりの区域にも校区が影響しているということで難しいと考える。小中一貫校という選択肢はあるが、一中学校区では、規模拡大はできない。クラス替えができる環境を作ることが、統合により可能である場合は、まずはそれを考えたい。</p> <p>京都府の小中一貫校を見に行ったら、そこは隣の校区に行こうと思えば、1時間以上の峠を越えていかなければいけないということで、再編という選択肢がないことから、小中一貫校を選択されている。</p> <p>そのような中で、人間関係、新しい出会い、同じ生徒から受ける刺激等を考えた時、クラス替えができる環境を確保したいが、そこは「やむを得ない」と判断</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
		<p>された結果であると分析している。</p> <p>将来的に6クラスになると予測しているが、最低クラス替えのできる、ある程度の規模を確保できると考えている。6学級を下回る規模になるにはまだしばらくかかると見込んでいる。</p> <p>この案では、クラス替えができて、新しい友達と出会える環境を作っていけるということが良いのではないかとということで、提案をしているが、ご意見を踏まえて今後、協議会の中で意見交換をしながら検討していきたい。</p>
つつじが丘	<p>③小中一貫校のハードルは高いとのことであるが、西宮市の西宮浜小学校・中学校ができており、可能である。長いスパンで考えて、トータルで判断し、メリット、デメリットを出した上で説明した方が良いのではないかと。</p> <p>クラス替え、部活よりも、通学の安全が一番大事である。学校の先生方の立場で物事を考えているのではないかと気になる。</p> <p>計画の中に小中一貫校も入れてほしい。</p>	<p>③小中一貫校にすれば、小学校の教員でも中学校の免許を持つ教員がいるので、免許外指導の課題は一定解消できるかもしれないが、中学校の生徒数を増やすことはできないため、クラス替え、部活動などの課題は残る。</p> <p>教育活動の質を上げていくためには、ある程度の人数が必要であるということで、このような提案をさせていただいている。</p> <p>原案を「たたき台」として、そのことも含めて、協議していただきたい。</p>
つつじが丘	<p>④先週、藍市民センターでの説明会で、「歴史的認識に誤りがあるから、資料を直してください。」といわれていたが、修正されていない。藍中学校は長坂中学校から分離したのではない。簡単に修正ができるのに、なぜ、修正しないのか。その姿勢をみると絶対に「ありき」である。</p> <p>「人数が少ないから統合します。」というのは誰でもできる。全然将来のことを考えていない。つつじが丘に中学校がなくなったら、若い子育て世代の人が、この地域に住まなくなる。</p> <p>先ほどから聞いていると、生徒のことがどうこうといっているが、生徒のことではなく、自分たちのこと、教員の定員を落とすことしか考えていないではないか。頭を下げて、嵐が去るのを待っているだけだ。自分の子どもがこうなったらどうするのか。もっと真剣に考えてほしい。大反対である。絶対に納得できない。</p>	<p>④先週のご意見をもとに、これまでの経緯を確認した。長坂中学校は、元々、藍、広野、本庄小学校をまとめて、長坂中学校の校区としてきている。今の藍中学校の校区で、例えば、大川瀬の子どもたちも当時は、長坂中学校の校区であったということで、そこからつつじが丘が造成され、多くの方が転入して来られた。</p> <p>そういった中で、藍中学校が新設をされたという経緯であり、口頭で平成3年に藍中学校が新設で開校されたという説明をさせていただいたところである。</p> <p>子どもたちの教育のことを真剣に考えて提案している。どんどん小規模化が進み、いろんな教育活動に、制約や出来ないことが増えてくる。「人数のいる他の学校ではできることが、小規模校ではできない。」ということは何とかなしたいということで、今回の議論をスタートさせていただいている。</p> <p>皆さまのご意見を聞くとなかなかご理解いただけていないと承知はしているが、そういった中で、子どもたちのこれからの教育をどうしていくべきかということも考えていただきながら、この協議について進められればと思っている。</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
藍小校区	<p>⑤そもそも、教育委員会が教育論の中で説明されたが、教育論では限界がある。これは都市計画の問題であり、この問題は開発当時から想定されていたはずである。</p> <p>まちづくりの中で、全体に人口減と高齢化をどうしていくのか。一時的には小中学校の統廃合も考えていかなければならないと思うし、それも一つの方法論であり、選択肢の一つだと思うが、一足飛びに統合するというところに、抵抗を持つものである。</p> <p>藍地域と本庄、長坂地域の将来のまちのあり方、調整区域で縛ってしまって、人口が増えないという国道筋、相野駅前、広野駅前が調整区域のまま、人口が増えない現実、まちづくり、都市計画という観点から、しっかりとこれまでの計画のあり方と今後の計画のあり方を、反省も含めながらやっていただきたい。</p> <p>これからのIT社会、映像を使つての授業も進められている。多様な観点で、複数の視点で議論を進めるべきではないか。現行の法律に縛られていては、新しい変革の時代にはついていけない。</p>	<p>⑤本日出席の中に都市計画の職員はいないが、いただいたご意見について、しっかりと市役所内で情報を共有し、広野、相野のまちづくりについて、地域の皆様とともに考えていきたい。</p>
つつじが丘	<p>⑥つつじが丘は都市計画法で学校をつくりなさいと決まっているわけで、皆さんその土地の負担もされている。</p> <p>小中一貫教育の検討はどのようにされたのか。</p>	<p>⑥小中一貫校は増えてはきているが、校長が1人であることや教員の往来など、メリットとデメリットの両面がある。三田市としては、小中一貫校と学校の再編ということ比べながら、今回再編という方法を提案させていただいた。</p> <p>小中一貫校については、基本方針でも示しているが、併設型の小中一貫校として、一定の考え方を示し、検討することとしている。</p>
本庄	<p>⑦藍市民センターでの説明会にも参加した。長坂中学校対藍中学校の関係にならないようにしたい。前回の説明会では、地域の理解がないと実施しないと明言されたが、再度確認したい。</p> <p>小規模校にはメリットがあるが、その説明がない。再編によって、そのメリットが消えてしまうのであれば、子どもたちにとって悲劇である。</p>	<p>⑦学校の環境は第一義的であるが、そのことだけで押し通そうというつもりはない。まちづくり、地域づくりと深いかわりを持っている中で、地域の皆さまのご理解が得られないのであれば、強引に進めるつもりは全くないが、ご理解いただける努力はさせていただきたいと思っている。</p> <p>我々も長い議論の中で、子どもたちにとってどのような環境が一番良いのかということを検討した上で、この「たたき台」を出させていただいた。ご理解いただけるように努めてまいりたい。</p> <p>この計画を説明する前提として、「基本方針に基づいて」ということで、説明している。基本方針には、小規模校のメリット、デメリットを記載しているが、そ</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
		<p>れが消えるということではない。</p> <p>小規模校のメリットとして、先生の目が行き届きやすいということが、一番大きいのではないかと思うが、そのメリットは、クラスを2つに割って指導をする少人数指導等でも対応が可能であり、既に実施している。大規模の学校でも、小規模のメリットを活かした教育は可能であり、これからも進めていく。</p>
つつじが丘	<p>⑧つつじが丘小3年の保護者でちょうど、再編の時期にかかる。現在、小中学校には徒歩で行けるが、長坂中学校まで行くことになる、自転車で30分程度かかると思う。冬場、夕方に薄暗い道を、1人で自転車で帰るのは、親としては心配、不安である。</p> <p>中3は高校受験を控えて大事な時期である。途中から学校が変わると友だち関係等の環境の変化が子どもにとってストレスになり、環境の変化に弱い子は、慣れるのにすごく苦勞するのではないか。</p> <p>そういう点で、不安になり、私学に通わせる人や、引っ越しする人が出てきて、結果、つつじが丘から、人が出て行ってしまう。</p>	<p>⑧通学の時間が伸びる、距離が伸びるということで、通学の不安があることについては、理解している。自転車通学という方法もあるが、スクールバスについても検討していくこととしている。地域協議会の中でも検討する機会を設けていきたい。通学時の安全指導については、全力をつくしていく。</p> <p>特に、中学校3年は進路を決める時期であり心配は理解する。そういったことがないよう、再編が決まれば、事前に交流を重ねていくなど、事前に十分な準備をし、特に中3の子どもたちにストレスがかからないようにしていきたい。</p>
つつじが丘	<p>⑨子どもの顔が見えない。子どもが住みやすいまちにしないと、まちの発展はあり得ない。まちづくりは、人口を増やすことが一番の基本である。この再編案はそれに全く逆行する案で、まちをつぶす案としかいいようがない。</p> <p>人口が減少する中で三田市を活性化するためにはどうしたらよいかを明石市に学び、子どもたちが増えるような施策を打つべきである。明石市の政策は素晴らしい。神戸市から明石市に人口が流出して、神戸市が文句を言っているのは神戸がダメなだけの話である。</p> <p>こんな姑息なことをしていたら、これから奈落の底に落ち、手の打ちようがなくなると思う。人口を増やすための政策を考えた上で、きちっとやっていただきたい。</p> <p>子どもの声も受け止めて、本当にやるのであれば、小中一貫校から進めるべきである。これが地域には一番傷の少ない方法である。</p> <p>教育者の立場だけでものを言われるとそれは筋違いである。本当に地域のためにどうするかを真剣に考えて、もう一度この案を練り直していただきたい。</p>	<p>⑨子どもの顔が見えないとおっしゃったが、本当にこのままで、子どもにとって良いのかということをおももも考えている。三田市も、さまざまな子育て施策を推進し、人口が増え、子どもの数も増え、学校の統廃合をせずに、子どもたちが豊かな環境の中でさまざまな人と触れ合いながら、自分の能力を伸ばしていけるという環境ができるのであれば、それが第一であると思っている。ただ、全国的な少子化の中で、三田市だけが人口が増えていくということは、なかなか難しい部分がある。</p> <p>今の環境の中で子どもたちにとって、何が一番良いのかを考えた時、三田市の今の状況であれば、再編をすることで一定の学校規模を確保し、様々な人との触れ合いや、充実した環境の中で教育が受けられるということが大事である。</p> <p>市内のどの地域に住んでも、安心して子どもを預けられる学校があるということが、まちづくりにとっても非常に重要な部分ではないかと思う。</p> <p>三田の教育は、学力も含めて、子どもたちの落ち着き、学習に向かう意欲など、他市に負けないものがあると思っている。そのような教育を今後も続けていきたいと思っている。</p> <p>まちづくりの部分については、教育だけではなく様々な施策があるので、そういった施策も含めてやっていかなければならない。市長自身も学校再編は教育委</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
		<p>員会だけの問題でないと言われているし、学校再編を一つの契機として、まちづくりをしていかなければならないという思いである。皆さんと協議をしながら小中一貫校も含めて、今後のあり方を考えていきたいと思っている。</p>
つつじが丘	<p>⑩子どものためというのであれば、やめてほしい。何をもちょう子どものためというのかよくわからない。</p> <p>10年前に引っ越してきた。近くに、小学校、中学校があるということで、こじんまりした中学校を求めてやって来た。それが安全、安心に行ける中学校ということで、それを選んだ。</p> <p>自転車通学することとなれば、30分～40分かかる。国道176号を超えることになる。それが本当に安全なのかと思う。</p> <p>クラブ活動の選択肢が少ないとの説明であるが、クラブ活動は絶対に必要とは思っていない。子どもが一生元気に暮らしていけるまちをめざしていただきたい。けがをしたら一生が台無しになってしまう。子どものことを考えると、一番そこが大事なところだと思う。</p> <p>教員の定数が10人に対して8人、9人であれば、御の字である。それだけもらえるのかと思った。</p> <p>小中学校の統合も考えていただきたいし、説明を聞いていると一方的すぎる。いろんな案を出していただかないと一方的すぎて、困惑する。何パターンか考えた中でこうだということをお示ししてほしい。説明会をもう一度開催してほしい。即答で答えられているので、「ありき」と感じている。</p>	<p>⑩最初に申し上げたように、今回の第1次計画案は、皆さまに議論していただくための「たたき台」としてお示ししたものである。皆さまのご意見を聞かせていただき、議論の進め方を考えていきたい。</p> <p>様々なご意見もあろうかと思うが、また違った意見を持たれている方もいらっしゃるかもしれないので、そういった意見も含めてお聞かせいただき議論していきたい。</p> <p>このような状況で、地域協議会には入れないと思っている。一定、再編について協議しようという状況にならない限り、前に進めていくことはできないと思っている。</p> <p>いろんな案というご意見であるが、我々の責任として、一定の「たたき台」をまずはお示しする必要があると考え、今回お示しさせていただきました。これからは、皆さまのご意見も聞きながら、「子どもたちにとって、より良い学びの環境とは、どういったことか。」ということと、三田市のまちづくり、地域づくりとして、学校をどのように位置づけていくのかということも考えていきたい。</p> <p>再編にあたっての子どもたちの通学の安全については、審議会でも議論があったところである。そういった部分についても十分配慮していきたいと思っている。</p>
つつじが丘	<p>⑪計画案に基づき、理解を求めているだけである。言った意見が全く反映されない状況である。説明会での意見をきちっと受け止め、それをどう反映するかが大事である。一方的な説明では理解できない。説明会での意見をどのように反映するのかということと、その議事録をどのように市民に公開するのか。</p> <p>理解が得られない限り、前に進めないということは、地域協議会を開けないということか。具体的にどうなれば地域協議会ができるのか。住民の理解が得られない場合は地域協議会ができないことになるのか。また、委員が体調不良等で、途中から地域協議会に出席できなくなった場合はどうするのか。地域から代役を立てるのか。</p>	<p>⑪総合教育会議で「たたき台」としての案を示した。この案に基づき説明させていただいている。その間に様々なご意見をいただいているので、ご意見を十分斟酌しながら、今後の進め方に反映させていきたい。議事録はまとめて、ホームページで概要を公開する。</p> <p>地域協議会については、対立構造の中で協議を始めたいとは思っていない。今回の説明だけでは足りないと思っている。説明を重ねる中で、結果が「是」でも「非」でも、再編について考えていこうという機運になった時に進めていきたいと思っている。その機運がない限り、地域協議会に入れられないのではないと思う。委員が途中で交代という場合は、各団体が協議をいただいて次に同じような立場で出ていただける方を選出していただきたい。</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>⑫教員数、年間の学校にかかる費用は、藍中学校と長坂中学校それぞれいくらか。また、統合した場合はどうか。</p>	<p>⑫細かな教員の数や費用等については、議論を進める中でお示しさせていただきたい。本日持ちあわせていないが、再編になれば再編する前の合計した教員数と比べて少なくなるというのは当然であるが、費用については学校の固定経費はあるが、子どもにかかる経費も多くあるので、再編で大きく経費が安くなるということではないと思っている。</p>
	<p>⑬小規模校にメリットがあるのではないか。諸外国では小規模に移行している。長い歴史の中でそういう結果になっている。広い視野で考えていただきたい。</p>	<p>⑬かつて、三田市にも各学年9クラス、10クラスという学校もあった。そうすると体育館の調整がつかなかったりとデメリットが多く出たかとは思いますが、現在の学年6クラス程度であれば、そうしたデメリットは出ずに、小規模のメリットもおおむね合うようなかたちで、教育活動が進められるのではないかと感じている。もちろん、小規模校では様々に活躍できる場面が多くなったり、異年齢交流などが組みやすいなどのメリットもある。</p>
	<p>⑭いじめは、大規模校で多く、小規模校で人数が少ないほどゼロに等しい状況になっている。それはなぜかという、子どもに先生がマンツーマンできちっと対応できるからである。子どもも先生に対して、いろんなことが言える。そういうことが一つの要因として挙げられている。</p>	<p>⑭いじめについては、小規模校の場合、人間関係が密になり過ぎてトラブルが起こるケースも聞いている。クラス替えができる環境が必要であると考えている。</p>
	<p>⑮教員の中で長時間労働のため休職する人も増えているのではないか。教員の働く環境についても改善してほしい。</p>	<p>⑮教職員の働き方改革については、これまでから勤務時間の適正化の取り組みを進めている。会議の回数を減らす、資料の簡略化、会議時間の短縮、ノー残業デイを設定し、出来るだけ教員の負担を減らすことで、子どもに向き合う時間が増え、学校に元気に来ていただくという取り組みを進めている。また、お盆休みを設定したりもしている。市民の皆さまのご理解をいただきながら、教職員が健康で元気に学校でこれからも働き続けるといったことをめざし取り組みを進めているところである。</p>
<p>つつじが丘</p>	<p>⑯前回、藍の説明会にも参加し、椅子が足りないぐらい参加されており、関心の高さが伺えた。 小・中・幼は近いところが良いと思い、いろいろ探して現在のつつじが丘で家を購入した。地域の方は子どものことをよくわかってくれており、下校時など、守られているという安心感がある。 長坂中学校の交差点の前で事故を見たこともある。 消防署の裏の駐車場はそんなに広くなく、運動会では、つつじが</p>	<p>⑯十分そのような思いを汲み取らせていただき、今後検討していきたい。</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>丘の方全員は停められないのではないかという不安もある。また、もし緊急車両が出なくてはいけない時に、車の移動をしないといけないのではないかと思う。体育館のトイレも外にあり、雨が降ると不便である。すごく不便になるというような話を夫婦でした時に、主人から「引っ越そうか」という言葉が出て、私は泣いてしまった。</p> <p>地域の方に良くしていただいて、子どもと地域の方の絆がどれだけ大切かというような、今まで見えてなかったことが、たくさん見えてきた。</p> <p>新聞で話が急に出た感じがして、とても悲しかったのが第一印象である。引っ越すのは簡単ではないが、それを言わなければいけなかった主人の思いもわかる。子どもにそのことを言うと、子どもも「嫌だ。」と言って泣いた。そんな思いも汲んでいただきたい。制服も体操服も学校が変われば買なおさなければならない。引っ越さなくてはいけないというようなことを、本気で悩んでいる家族がいることを頭の中においていただきたい。</p> <p>実際、私の友だちはもうすぐ引っ越す。いろいろ話をして決めたということであるが、つい最近その話を聞いて、子どももお友だちと別れるのがつらくて大号泣した。私も、仲間がいなくなるので大号泣した。</p> <p>そんなことも、今日、発表しなければ、皆さんに何も知られずに、これからの子どもたちのためにと言われて、この話が進むかもしれないと思ったので、勇気を振り絞って手を挙げさせていただいた。ぜひ、そのことも頭において、これから検討してほしい。</p>	
藍小校区	<p>⑩地域協議会が開催できず、地域間で分断が起こることは望ましくない。学校、子ども、まちづくり全般のこと、多様な意見があり、それぞれまちの成り立ちも違うと思うが、課題として抱えていることは非常に共通したところがあるのではないかと考えている。そのような中でこれをきっかけに、議論を深めていくことによって、お互い、理解できる部分も出てくるのではないかと思う。</p> <p>現状では、地域協議会が開けないからということで、この問題を放置することなく、地域協議会が適切でないというお考えであるの</p>	⑩今日いただいた意見を踏まえ、今後の進め方も含めて検討していきたいと考える。

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>であれば、そういった問題について、議論をきっちりしていく場を早急に持っていただき、学校の教育のことを含めて、地域の課題についての議論を進めていただきたい。</p> <p>今回のことで、子どもたち、保護者は非常に動揺しており、不安がある。そういったことも踏まえて、きっちりと議論し、より良いまちづくりができるということを、前向きに早急に進めていっていただきたい。地域を代表し要望とさせていただきます。</p>	
つつじが丘	<p>⑱本日、説明会へは3回目の出席である。ほとんどが、つつじが丘の方の意見である。その他は1名を除いて何も意見が出ていない。それは、恐らく何も影響がなく、今までと同じだから意見がないのだと思うが、私は反対の立場で臨んでいる。</p> <p>生徒数についても、三田市の事務報告書から、0から4歳をもとに私が計算したところ、そういう数字にはならない。</p> <p>都市計画上の市街地の中学校から、市街化調整区域の中学校に行かせるというのは政策上、都市計画上いかなものかと思う。</p> <p>この環境をめざしてきた方もいらっしゃる。</p> <p>文科省の通知に基づいて、せざるを得なかったと理解するが、地域協議会も開くかどうかわからないという状況になれば、これを機に、教育問題は広い視野で検討すべきだと思う。少子化という傾向はどこでもそうである。先ほども意見もあったが、小中一貫校ということを考えてはどうか。例えば、藍小学校、つつじが丘小学校、藍中学校、この3つの学校の統合を考えると。長坂は長坂中学校、広野、本庄小学校の小中一貫校を考えても良いのではないか。</p> <p>通学のことを考えると、この再編案では大変である。安全の問題もある。</p> <p>上野台中学校はそのほとんどがバス通学であるのに、大規模にしたいがために、より遠くに統合しようとしている。少ない人数でいじめ対象にもなり得るのではないかと不安である。新設校を建てようとしており、財政的にも不安であり、解せない。</p> <p>小規模校であっても良いのではないか。国際的には日本はアメリカに次いで世界2番目に学校規模が大きい。フィンランド、ノルウ</p>	<p>⑱さまざまな、ご意見をいただいている。何度も申し上げるが、ご意見をいただきながら、今後の協議のあり方について考えていきたい。</p> <p>上野台中・八景中のことについてもご意見をいただいた。十分慎重に検討していきたい。</p>



発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>エーなどは、1つの学校が100人以下である。そういう小規模校の方が、メリットが大きい。フィンランドは教育水準が高い。</p> <p>AIの進歩、グローバル化、こういう概念はどこへいつているのか。これを利用しない手はないのではないかと。三田市がこういうことを小中一貫校で先行して研究したらよいのではないかと。グローバル化、ITの視野で、教育をより高度にすることで、国際的な人間を三田で育成できるのではないかと。小中一貫校を真剣に考えても良いのではないかと。</p>	